

【氏名】 平嶋 一臣 (ひらしま かずおみ)

【職位】 特任教授

【学位】 修士 (教育学、九州大学)、文学士 (佛教大学)、法学士 (福岡大学)

【主な担当科目】

純真ゼミナールⅠ・Ⅱ、文章表現法、感性学、教育原理、日本国憲法

【主な研究業績】

○著書等

1. 『感性のひらめき』、共著、紅書房、2015年
2. 短大テキスト『講義資料』、単著、自費出版、2015年

○学術論文

1. 平嶋一臣、小学校毛筆書写授業への提言：書写教育の現状からの課題（純真紀要第62号、pp.1-14、2022年）
2. 平嶋一臣、感性の原理（純真紀要第61号、pp.11-24、2021年）
3. 平嶋一臣、郷土学を構築する：入学期の大学生のために（純真紀要第61号、pp.25-38、2021年）
4. 平嶋一臣、感性を育てる～一般教養・『感性学』授業の試み～（日本感性教育学会論文集、2020年）
5. 平嶋一臣、幼児教育課程における「表現」活動の一方法～古代象形文字を題材として～（純真紀要第60号、pp.29-42、2020年）
6. 平嶋一臣、「感性」育てへの試案～様々な感覚刺激による学生の「気づき」を中心に～（純真紀要第60号、pp.1-14、2020年）
7. 平嶋一臣、古典『書』の学びを現代書へ～甲骨文を素材に新たな書表現を試みる～（純真紀要第58号、pp.1-14、2018年）
8. 青沼典子、川畑美保乃、平嶋一臣、幼児期・児童期における『表現』活動の研究～表現活動の態様と意義を中心に～（純真紀要第58号、pp.15-28、2018年）
9. 平嶋一臣、書道史における『木簡』の位置～その現代的開放性について～（純真紀要第57号、pp.23-36、2017年）
10. 平嶋一臣、『感性学』序説～人間性に根ざした授業構造へのアプローチ～（純真紀要第57号、pp.37-50、2017年）

- 1 1. 平嶋一臣、『感性』を育てる～ 幼児・児童期の墨書表現による～（純真紀要第 56 号、pp.23-36、2016 年）
- 1 2. 平嶋一臣、空海の書跡に見る、その創造性～『風信帖』・『灌頂記』の文字分析を通して～（純真紀要第 56 号、pp.37-50、2016 年）
- 1 3. 平嶋一臣、教師の『感性教育』認識（純真紀要第 55 号、pp.43-56、2015 年）
- 1 4. 平嶋一臣、日本書道史における『多胡郡碑』の位置～中国・朝鮮半島における同系碑文との比較およびその臨書法～（純真紀要第 55 号、pp.57-70、2015 年）

○口頭発表（学会等）

1. 感性学と感性教育学の間（はざま）～大学における『感性学』講座と今後の課題～（令和元年度日本感性教育学会、青山学院大学、2019 年）
2. 小学校における毛筆書写の現状と課題② ～3 年生「書写」の出前授業と教師へのアンケート調査から見えてきたもの～（九州教育経営学会第 102 回定例研究会、西南学院大学、2019 年）
3. 新講座『感性学』開講にむけて～シラバス中の各論・準感覚協働法の試みを中心に～（平成 30 年度日本感性教育学会、犬山市文化センター、2018 年）
4. 小学校における毛筆書写の現状と課題① ～アンケートに見る教師の意識を中心に～（九州教育経営学会第 100 回定例研究会、九州大学、2018 年）
5. 実践哲学としての『感性学』～その具体的な方法と学生の反応を中心に～（平成 29 年度日本感性教育学会、玉川大学、2017 年）
6. 感性教育についての試論的考察④（九州教育経営学会第 98 回定例研究会、2017 年）
7. 感性あふれる空海の書線 ～そのマイクロ・マクロ的分析の試み～（平成 28 年度日本感性教育学会、純真学園大学、2016 年）
8. 感性教育についての試論的考察③（九州教育経営学会第 94 回定例研究会、2015 年）
9. 古典落語『あたま山』の背景に潜むもの（平成 27 年度日本感性教育学会、大分市文化ホール、2015 年）
- 1 0. 感性教育についての試論的考察②（九州教育経営学会第 92 回定例研究会、2015 年）

1 1. 感性教育についての試論的考察①（九州教育経営学会第 90 回定例研究会、2014 年）

1 2. 指導者の「感性」認識および「感性教育」の現状と課題（平成 25 年度日本感性教育学会、横浜市、2014 年）

○日本文化活動（主に『書』を通して）

1. 書道個展（隔年、2013 年はベトナム、国立ハノイ大学日本文化センターにて）

公益財団法人独立書人団 会友（1968 年～）

書学舎事務局長（1983 年～）

日本教育書道連盟審査員（1988 年～）

純真短期大学書道部顧問（2009 年～）

福岡市伝統文化親子教室『書道体験』（福岡市・松風庵にて、2013 年～）

日米（大野城市・バーモント州）交流『書道教室』（大野城市役所別館、2015 年～）

2. 書作品収納先

福岡市立春吉小学校 福岡市立内浜小学校 福岡市立南当仁小学校 福岡市立那珂小学校

福岡市立金武小学校 福岡市立有田小学校 福岡市立東住吉小学校

福岡市立城原小学校 福岡市立警固小学校 福岡市立石丸小学校 福岡市立筑紫

丘小学校 福岡市立春住小学校 福岡市立北崎小学校 福岡市立清水高等学園

糸島市立引津小学校 糸島市立桜野小学校 糸島市立福吉小学校

福岡市立脊振少年自然の家 英彦山青年の家

純真保育園（現：こどもの園 純真） 春暉国際学院（大野城市日本語学校）

対馬市立鶏鳴幼稚園

国立ハノイ大学日本文化センター ほか

3. 学校校札揮毫

福岡市立小呂小・中学校 福岡市立照葉小・中学校 福岡市立老岐南小学校

福岡市立石丸小学校 福岡市立筑紫丘小学校 福岡市立能古小学校

春暉国際学院（大野城市日本語学校）

4. ポスター等題字（等）

- ・九州大学『伊都祭』、ふくおか国民文化祭『大茶会』（福岡県・市合同主催）
- ・アジアアートフェスティバル『アジア楽市楽座』（福岡市文化芸術振興財団ほか）
- ・福岡市博物館 2014年7月～9月開催『軍師官兵衛』展のTシャツ、タオル等のロゴマーク
- ・今宿花火大会『まつり今宿』（2015年～）
- ・対馬市アンテナショップ（博多駅前）『対馬』『よりあい処（どころ）』（2014年）
- ・KBC・TV番組『空海ミステリー劇場』題字（2015年12月放映）
- ・対馬市アンテナショップ（対馬厳原）『対馬』『ふれあい処（どころ）』（2016年）
※その他、商店・料亭等の看板およびパンフレット文字

○その他

1. 講演会（2011年以降、福岡県関係の講演のみ）

- ①現代教育における「感性」の意義（2024年、明治学園高校）
- ②親子で育てる日々の人権意識（2024年、福岡市立早良小学校）
- ③こどもたちにたくましさとおしさを（2022年、福岡市立早良小学校）
- ④人権意識の根底に在るもの ～常の自己感性磨きを～（2021年、福岡市私立幼稚園教育センター）
- ⑤私の歩んできた道 ～旅・書・感性研究～（2020年、福岡市立姪北小学校）
- ⑥書表現のいろいろ ～古典から現代まで～（2020年、福岡通訳協会）
- ⑦子育ては、まず親の自分育てから～子どもの優しさとたくましさは、「感性」育て～（2019年、福岡市立箱崎小学校）
- ⑧自分にも子どもにも、「常の感性育て」を意識したい～自・他の存在に気付く試みをヒントに～（2019年、福岡市立東若久小学校教職員）
- ⑨幼小連携に向けた教師のチーム力（2018年、朝倉市甘木幼稚園）
- ⑩人間力・人間関係づくりの基盤にあるもの～今こそ「感性力」が問われている～（2018年、九州・女子大学体育教師会主催 純真短期大学を会場に）
- ⑪子どもの小さなサインに気付いていますか？～「気付く」「気付かない」その分岐点にあるもの～（2018年、福岡市立曲淵小学校）
- ⑫教師のチーム力と幼小連携（2018年、北九州市門司区幸幼稚園）

- ⑬21世紀を生きぬく子どもに欠かせない力～「感性」という、優しさと逞しさこそ人間関係づくりの基盤～（2017年、福岡市立雁の巣幼稚園）
- ⑭21世紀、子どもに付ける力について～『感性』を大切に育て、人間関係の基盤づくりを～（2017年、福岡市立曲淵小学校）
- ⑮フィールドワーク・博多&福岡（2017年、五豊会創立10周年記念講演および福岡・博多の古跡案内）
- ⑯これからの小学校教師に期待するもの～「想い」を「創る」教師の仕事はロマン～（2017年、中村学園大学教育学部児童幼児教育学科）
- ⑰未来ある子どもたちに、学校・家庭・地域はどう関わればよいのか（2017年、福岡市飯原校区人尊協）
- ⑱日々の感性磨きが人権感覚を育てる（2016年、田川郡糸田町文化会館）
- ⑲人間関係づくりの原点としての感性（2016年、福岡県高等学校看護専攻科教師タカクラホテル福岡）
- ⑳人間関係づくりの基盤にあるもの（2016年、嘉穂郡桂川町住民センター）
- ㉑子育ては、まず親の自分育てから（2016年、福岡市立和白幼稚園）
- ㉒子育ては、まず親の自分育てから（2016年、福岡市立馬出小学校）
- ㉓子育ては、まず親の自分育てから（2015年、福岡市立舞鶴小・中学校）
- ㉔今こそ子どもたちにたくましさとおしさを（2015年、嘉穂郡桂川町住民センター）
- ㉕博多学講座（2015年、五豊会幼稚園保育園教師対象）

2. 出前授業

福岡県・長崎県の小・中学校の児童・生徒及び海外からの留学生を対象に『書』『郷土史』の出前授業

- ①「幼児期の墨あそび」（2016年、純真保育園・和白幼稚園・雁の巣幼稚園）
- ②「小学校3年生書写、初めの一步」（2016年、福岡市立三筑小学校など4校）
- ③留学生対象の日本文化（書道）体験
 - ・（高校生）タイ・イラン・マレーシア・中国・韓国・カナダ・アメリカ・ドイツ・イラン・インド・ケニヤ・ザンビアほか

・(専門学校生) フィリピン・インド・ネパール・韓国・中国・ベトナムほか

・(大学生) 九州大学・大学院生 (2015年、九州大学筑紫キャンパス)

④「かずら筆で字を書こう」(今宿公民館こども講座 2016年～)

⑤2016～2019年度の出前授業校

愛宕浜小学校・有住小学校・有田小学校・飯倉小学校・飯倉中央小学校・壱岐南小学校・柏原小学校・金武小学校・北崎小学校・警固小学校・玄洋小学校(子ども会)・三筑小学校・城原小学校・堤丘小学校・東光小学校・那珂小学校・西花畑小学校・能古小学校・野多目小学校・春吉小学校・東住吉小学校・東箱崎小学校・舞鶴小学校・南当仁小学校・若宮小学校(以上 福岡市)
福吉小学校(糸島市)

3. 連載寄稿

①福岡の郷土誌・月刊『うわさ』に、博多・福岡の郷土史・郷土物語・書論等を連載

『風信帖精解』2011年～2014年5月25日(32話完結)

『脊振遊々』(全27話)2008年～2010年

『続・小呂島だより』(全17話)2007年～2008年

『島の学校・町の学校』(全7話)2001年～2005年

『小呂島だより』(全13話)1995年～2000年

『教育レポート』(全12話)1993年～1995年

『シルクロード紀行』(全11話)1990年～1991年

②口語自由律俳句季刊誌『あまのがわ』(大分県由布市に事務局)に、俳句論『新・むがいしゃ教室』を連載 2010年～2022年(53話完結)

4. 新聞インタビュー、TV放映等

①『対馬人よ、立ち上がれ!』(2023年6月9日、対馬新聞)

②『小学校の毛筆書写教育 豊かな表現力磨くために』(2021年12月5日、西日本新聞朝刊)

③『とめ、はねで1年生に0点 先生、厳しすぎませんか?』(2021年4月4日、西日本新聞朝刊)

- ④『梓にはまるな・感性に訴え』（2019年2月24日 西日本新聞朝刊）
- ⑤『私の忘れられない旅』（2016年5月31日 読売新聞、福岡市西部・佐賀情報誌）
- ⑥『空海ミステリー劇場』（2015年12月29日 KBCTV）
- ⑦「書を通じ生きる勇気を」（2015年10月30日 西日本新聞朝刊）
- ⑧「脳梗塞と闘い書を描く」（2015年9月12日 西日本新聞朝刊）

5. 学園外での活動

福岡県幼児教育アドバイザー（保・幼・小連携の在り方、子育て支援を中心に、2017年度～現在に至る）